

Backup 大丈夫ですか？

ランサムウェアが流行し、バックアップの重要性が叫ばれている昨今ですが、ランサムウェアによるデータの暗号化だけでなく、大事なデータを誤って書き換えたり消失したりうちはバックアップ取れているから大丈夫、と思いきや実はバックアップが取れていなかった…などいざという時に大事なデータをしっかり守れているか、改めて確認をしていきましょう。

1・データのバックアップを取る

パソコンやサーバーが故障したり、ランサムウェアでデータが暗号化されれば意味がありません。DVDなどのメディアや外付けハードディスクなどにデータを定期的に残しておきましょう。「ファイルのコピーは3個（本体+バックアップ2個）あるべき」と言われています。

2・バックアップは別の場所を取る

バックアップしたデータが盗まれたり、火災などの災害があったら…パソコン・サーバーのすぐ横にバックアップをとっておくよりも離れた場所（オフサイト）にバックアップデータがあれば、万が一の際もそこからデータを復旧させることができます。

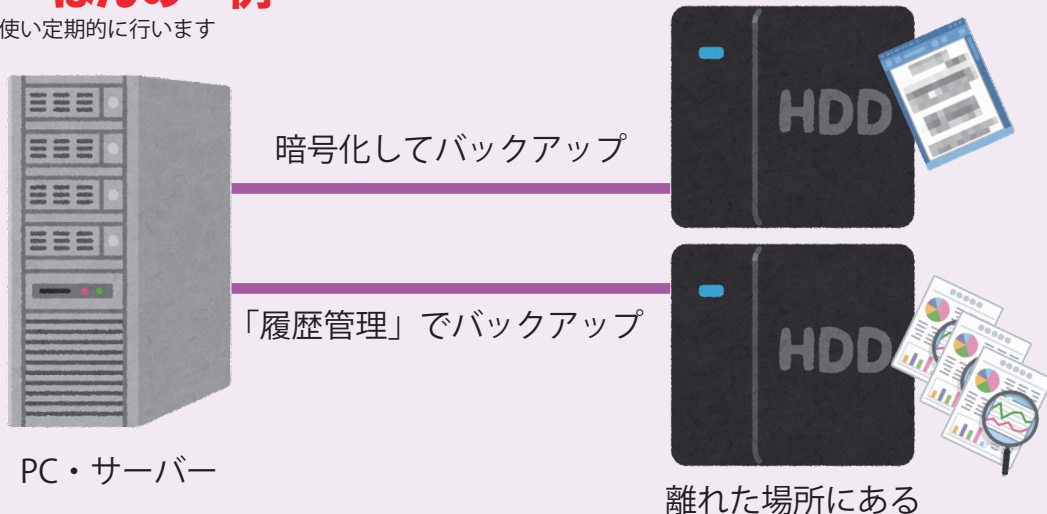


3・バックアップデータは簡単に見えないようにする

バックアップしたデータを改ざんされないように細工するのも大事です。また、ランサムウェアなどはバックアップ領域まで手を出してくる厄介者です。簡単にバックアップ領域にアクセスできないようにする工夫も必要です。

バックアップ・ほんの一例

バックアップソフトを使い定期的に行います



※「履歴管理」とは…バックアップ先に何世代かのデータを残しておく方式です。この方式にすることで仮にバックアップ元のファイルやフォルダがランサムウェア等に感染しても世代が残ることでバックアップデータが安全に保たれます。（バックアップ先が読み取り専用になります）

3-2-1 ルールをご存知ですか？

★常に3つのデータコピーを作成し・それらを2つの異なる媒体に保管し・1つはオフライン環境に保存する有事の際にもこれらのどこかにデータが残っている、ということが可能になります。

とある会話で…



バックアップに
ここまで必要なの？

とある会社ではランサムウェアに
感染して、復旧に3ヶ月・金額も
数千万円かかったと言われていま
す。影響はすごいですよね。



でも、バックアップに
そんなにお金かけられませんよ～

自社・お取引先への影響を考慮して
バックアップの重要性を再確認す
べきです。何か起こってからでは
大変ですよ。



ひとつこと

バックアップは「何かを生み出す」作業でもなく、儲かるというものでもないため軽視されがちです。普段何も無いときには必要のないものという意味では、非常食の準備と似ていませんか？

ただ、いざというときに食べられなかったら……。

同じように、バックアップがあると安心していても、

不具合があつてとれていなかったり、必要な部分がなかったり、復元できなかったり。

日頃必要ないものだけに疎かになりがちですが、万一の時に命拾いするかどうかの分かれ目になります。

PCやサーバなどのハードはお金をかければ短時間で復旧することができます。

しかし、消失したデータは、いくらお金をかけても復旧不可能な場合がほとんど。

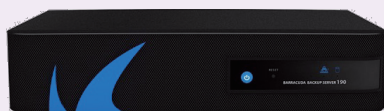
取引先に多大な迷惑をかけることになり、最悪の場合顧客を失うことになります。

今一度、データバックアップの重要性を考えてみてください。



常に「備え」はあったほうがいいですね

おすすめ、あります。



BUFFALO



Acronis
arcserve®

and more...

この他にも、お客様のニーズに合ったバックアップソリューションをご提案します。
お気軽にお声がけください！

ITセキュリティのことなら当社までお問い合わせください。
滋賀ビジネスマシン株式会社 TEL 077-543-2277